

# かつての『新興国』のいまとこれから —ラテンアメリカと中・東欧の2020年代の現状から考える



## プログラム

趣旨説明(13:30-13:35) 村上勇介

第1セッション(13:35-15:35) ラテンアメリカにおける政党政治の変容

馬場香織(北海道大学)

「メキシコ新政権の発足と治安政策」

安良城桃子(東京大学大学院)・舛方周一郎(東京外国語大学)

「2024年ブラジル地方選挙と政党政治のゆくえ」(仮)

第2セッション(15:50-17:50) ロシアのウクライナ侵攻前後の東欧の変容

服部倫卓(北海道大学)

「ルカシェンコの30年を経てベラルーシはどこへ向かうか？」

中井遼(東京大学)

「ロシアによるウクライナ侵攻後のバルト諸国の選挙政治」

## 開催日時

2025年 1月13日(月・祝日) 13:30~17:50

## 会場

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター4階大会議室(403)  
およびZoomによるオンライン

オンライン参加申込用URL

<https://zoom.us/meeting/register/tJIsdOmoqDMuE9Xfdsz1VdOkjh7JhG8d1DHH#/registration>



## 主催

科学研究費補助金

「低成長期中南米の政党システム変動の比較分析」(課題番号21H04392)

「政党政治の変動と社会政策の変容の連関:新興民主主義国の比較」

(課題番号20H00058)

## 共催

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター「ウクライナ及び隣接地域研究ユニット」

問い合わせ先: m-sengoku@slav.hokudai.ac.jp(担当:仙石)

